

2018年度 日本気象学会東北支部第2回理事会 議案

日時：2019年3月8日（金）16時00分～17時00分

場所：仙台管区気象台第3会議室

開会の挨拶

出席者紹介

議 題

- | | |
|---------------------|--------|
| 1. 2018年度事業報告 | 2 ページ |
| 2. 2018年度会計報告 | 5 ページ |
| 3. 2018年度会計監査報告 | 6 ページ |
| 4. 2019年度事業計画案 | |
| (1) 支部理事会 | 7 ページ |
| (2) 支部だより | 7 ページ |
| (3) 支部気象講演会 | 7 ページ |
| (4) 支部気象研究会 | 7 ページ |
| (5) 支部強化基金による活動 | 8 ページ |
| (6) 日本気象学会奨励賞などへの応募 | 8 ページ |
| 5. 2019年度予算案 | 9 ページ |
| 6. 検討事項 | |
| (1) 支部長会議の報告 | 11 ページ |
| 7. その他 事務局から | 13 ページ |

資 料

- | | |
|------------------|--------|
| 役員名簿（第31期2018年度） | 14 ページ |
| 東北支部規則 | 15 ページ |
| 東北支部細則 | 16 ページ |

議題 1. 2018年度事業報告

1 2018年度支部活動報告

1) 日本気象学会東北支部第31期役員選挙

岩渕幹事を選挙管理人とし3月26日告示、4月19日～5月18日投票、5月25日開票事務を実施。

次のとおり役員が決定(あいうえお順)。

在仙理事

青木 周司 氏	東北大学大学院理学研究科教授
大林 正典 氏	仙台管区気象台長
折坂 章子 氏*	日本気象協会東北支社総務課長
加藤 廣 氏*	仙台管区気象台気象防災部予報課長
菅原 敏 氏*	宮城教育大学理科教育講座教授
杉山 公利 氏	日本気象予報士会東北支部長
西尾 利一 氏*	仙台管区気象台気象防災部長
山崎 剛 氏*	東北大学大学院理学研究科教授

地方理事

中澤 博志 氏*	山形地方気象台長
福田 正人 氏*	青森地方気象台長
谷田貝 亜紀代 氏*	弘前大学大学院理工学研究科教授

会計監査

吉田 薫 氏*	仙台管区気象台気象防災部気象防災情報調整官
---------	-----------------------

*印は新任

支部長、常任理事は、2018年度第1回理事会にて当選した理事により選出。

支部長は大林 正典 氏。

なお、幹事は次のとおり(あいうえお順)。

岩渕 弘信 氏	東北大学大学院 准教授 (理学研究科)
中川 憲一 氏*	仙台管区気象台気象防災部地球環境・海洋課 技術専門官
渕上 隆雄 氏*	仙台管区気象台気象防災部防災調査課 調査官

2) 2018年度秋季大会について

【概要】

場所：仙台市

期間：2018年10月29日（月）～11月1日（木）

会場：仙台国際センター（仙台市青葉区青葉山無番地）

参加：798名

3) 東北支部だより発行

■第87号 (2018年9月発行)

- ・ TOPIC 「スパコンは何がスーパーか?」: 西尾 利一氏 (仙台管区気象台気象防災部長)
- ・ 報告「気象サイエンスカフェ東北 (第8回、第9回) 報告」
: 杉山 公利氏 (日本気象予報士会東北支部長)
- ・ 選挙結果「日本気象学会東北支部第31期役員選挙結果について (投票結果の公示)」: 岩渕 弘信氏 (日本気象学会東北支部 選挙管理人)

- ・ 2017年度日本気象学会東北支部第2回理事会 議事抄録
- ・ 2018年度日本気象学会東北支部第1回理事会 議事抄録
- ・ 気象災害委員会・日本気象学会メソ気象研究会合同研究会のご案内
- ・ 日本気象学会東北支部気象講演会のご案内
- ・ 事務局からのお知らせ

■第88号 (2019年3月発行予定)

- ・ TOPIC 「秋田県立大学における大気研究の紹介」
: 井上 誠氏、木口 倫氏 (秋田県立大学)
- ・ 報告1 「日本気象学会東北支部気象講演会開催」: 山形地方気象台
- ・ 報告2 「福島復興支援」: 渡邊 明氏 (福島大学名誉教授)
- ・ 事務局からのお知らせ

4) 東北支部気象講演会

日 時: 2018年11月5日 (月) 13時30分~16時00分

会 場: やまぎんホール (山形県民会館) 地下講堂

テーマ: 「雪と生きる -山形の大雪、いまとこれから-

講演者: 小杉 健二氏

(防災科学技術研究所 雪氷防災研究センター新庄雪氷環境実験室長)

川瀬 宏明氏 (気象研究所 主任研究官)

参 加: 80名

主 催: 日本気象学会東北支部

共 催: 山形地方気象台

後 援: 山形河川国道事務所、山形県、山形市、克雪技術研究協議会、
日本気象予報士会東北支部、地球ウォッチャーズ-気象友の会-
東北支部だより第88号に開催報告を掲載予定。

5) 東北支部気象研究会

2018年度は秋季大会を仙台市で開催したため、本年度は開催を休止した。

6) 支部理事会

- ・第1回（2018年6月11日，仙台管区気象台第1会議室）
- ・第2回（2019年3月8日，仙台管区気象台第3会議室）

7) 支部強化基金による活動（気象サイエンスカフェ東北）

第9回気象サイエンスカフェ東北

【概要】

日 時：2018年7月15日（日）14時～16時

会 場：東北大学川内北キャンパス

（学都「仙台・宮城」サイエンスデイの出展プログラムの一つとして実施）

テーマ：「地球温暖化あれこれ」

話題提供者：上原 浩之氏（仙台管区気象台気象防災部気候変動・海洋情報調整官）

主催：日本気象学会東北支部、日本気象予報士会東北支部

共催：日本気象協会東北支社、仙台管区気象台

後援：気象友の会

8) 日本気象学会奨励賞の推薦

- ・推薦はなし

議題2. 2018年度会計報告 (2019年2月28日時点)

〔支部一般会計〕 (2018年4月1日～2019年2月28日)

	予算額	決算額	差異 [予算-決算]
I 収入の部			
事業活動収入			
本部交付金	*1556,400円	556,400円	0円
前期繰越金	136,450円	136,450円	0円
事業収入(広告料等)	0円	0円	0円
雑収入			
預金利息	5円	5円	0円
事業活動収入計(1)	692,855円	692,855円	0円
II 支出の部			
事業活動支出			
事業費支出			
支部気象講演会	250,000円	226,976円	23,024円
支部気象研究会	0円	0円	0円
支部だより	200,000円	98,825円	101,175円
ホームページ運営費	15,000円	15,000円	0円
管理費支出			
支部理事会	85,000円	7,518円	77,482円
支部役員選挙	30,000円	27,959円	2,041円
事務費	50,000円	19,440円	30,560円
事業活動支出計(2)	630,000円	395,718円	234,282円
III 予備費支出			
予備費支出	62,855円	0円	62,855円
予備費支出計(3)	62,855円	0円	62,855円
当期収支(A)=(1)-(2)-(3)	0円	297,137円	
次期繰越額(A)-(残りの支出予定額)	0円	297,137円	

※マイナスの金額には、△印を付した。

*1:本部交付金は、支部会員172名(2018年4月1日現在)×1,200円+35万円。

黄色塗りつぶしは、今年度まだ事業(支出予定)が残っているもの

〔支部強化基金による活動会計〕（気象サイエンスカフェ東北）

	予算額	決算額	差異 [予算-決算]
I 収入の部			
事業活動収入			
本部交付金	95,000 円	95,000 円	0 円
気象予報士会東北支部分担金	20,000 円	*1 20,000 円	0 円
事業収入（広告料等）	0 円	0 円	0 円
雑収入	0 円	0 円	0 円
事業活動収入計(1)	115,000 円	115,000 円	0 円
II 支出の部			
事業活動支出			
事業費支出			
資料印刷費	45,000 円	27,216 円	17,784 円
会場費 開催費	25,000 円	40,082 円	△15,082 円
講師謝金	15,000 円	0 円	15,000 円
事務費	5,000 円	15,491 円	△10,491 円
役務費・交通費	25,000 円	4,295 円	20,705 円
事業活動支出計(2)	115,000 円	87,084 円	27,916 円
当期収支差額=(1)-(2)	0 円	27,916 円	

※マイナスの金額には、△印を付した。


*1：2019年3月2日に20,000円を受領。

黄色塗りつぶしは、今年度まだ事業（支出予定）が残っているもの

議題3. 2018年度会計監査報告（2019年2月28日時点）

預金通帳、領収書を照合の結果、誤りが無いことを認めます。

2019年3月4日
日本気象学会東北支部会計監査

吉田 薫 

議題4. 2019年度事業計画案

2 2019年度支部活動計画

1) 東北支部理事会の開催

- ・例年は年2回（5～6月、3月頃予定）開催している。
- ・議論が必要な場合は、適宜臨時理事会を開催する。

2) 東北支部だより発行

- ・年2回発行(第89号、90号)の予定。
- ・作業簡略のため、発行作業は原稿のとりまとめまでとし、編集、印刷及び会員への発送は2018年度と同様に業者発注とする。

3) 東北支部気象講演会

【概要】

日 時：未定

会 場：未定

テーマ：未定

- ・2019年度は青森県で開催予定、テーマ等は未定。今後準備を進めていくこととしたい。

2013年度以降の開催状況

年度	開催地	講演者		
2013年度	弘前市	楠 研一	児玉 安正	
2014年度	福島市	渡邊 明	小畑 英樹	
2015年度	仙台市	岩崎 俊樹	小森 大輔	廣川 康隆
2016年度	盛岡市	山本 浩之	名越 利幸	
2017年度	秋田市	和田 幸一郎	本谷 研	
2018年度	山形市	小杉 健二	川瀬 宏明	

方針：気象講演会は原則として「持ちまわり」で開催する。ただし、他のイベント等との同年開催については配慮を行うとともに、会員等からの開催・運営の意向があった場合、宮城県等他県での開催も可能とし、担当理事がこれを調整する。なお開催地を変更する場合は、準備の都合上、開催前年度の第2回理事会前（例年2月～3月）に東北支部事務局へ通知することとする。

4) 東北支部気象研究会

2019年度の開催については、仙台管区気象台 防災調査課と検討し、気象台の東北地方調査研究会と東北支部気象研究会の合同発表会の形式で行うことを計画する。

5) 支部強化基金による活動（気象サイエンスカフェ東北）

- ・第10回気象サイエンスカフェ東北を、仙台市で開催する。テーマや講師等は、日本気象予報士会東北支部と連携して検討を行う。

【概要】

日 時：未定

会 場：未定

テーマ：未定

6) 小倉奨励賞などへの推薦

議題5. 2019年度予算案

〔支部一般会計〕

	2019年度 予算額	2018年度 予算額	予算増減額 [2019年—2018年]	2018年度 決算額
I 収入の部				
事業活動収入				
本部交付金	*1549,200円	556,400円	△7,200円	556,400円
前期繰越金	*2152,000円	136,450円	15,550円	136,450円
事業収入(広告料等)	0円	0円	0円	0円
雑収入				
預金利息	5円	5円	0円	5円
事業活動収入計(1)	701,205円	692,855円	8,350円	692,855円
II 支出の部				
事業活動支出				
事業費支出				
支部気象講演会	250,000円	250,000円	0円	226,976円
支部気象研究会	100,000円	0円	100,000円	0円
支部だより	200,000円	200,000円	0円	98,825円
ホームページ 運営費	15,000円	15,000円	0円	15,000円
管理費支出				
支部理事会	85,000円	85,000円	0円	7,518円
支部役員選挙	0円	30,000円	△30,000円	27,959円
事務費	50,000円	50,000円	0円	19,440円
事業活動支出計(2)	700,000円	630,000円	70,000円	395,718円
III 予備費支出				
予備費支出	1,205円	62,855円	△61,650円	0円
予備費支出計(3)	1,205円	62,855円	△61,650円	0円
当期収支差額 (A)=(1)-(2)-(3)	0円	0円	0円	297,137円

※マイナスの金額には、△印を付した。

*1 本部交付金は、支部会員166名×1,200円+35万円。

*2 繰越金は暫定。

黄色塗りつぶしは、今年度まだ事業(支出予定)が残っているもの。若しくは暫定額。

〔支部強化基金による活動会計〕（気象サイエンスカフェ東北）

	2019年度 予算額	2018年度 予算額	予算額増減 [2019年-2018年]	2018年度 決算額
I 収入の部				
事業活動収入				
本部交付金	95,000円	95,000円	0円	95,000円
気象予報士会東北支部分担金	*120,000円	20,000円	0円	*2 20,000円
事業収入（広告料等）	0円	0円	0円	0円
雑収入	0円	0円	0円	0円
収入計(1)	115,000円	115,000円	0円	115,000円
II 支出の部				
事業活動支出				
事業費支出				
資料印刷費	45,000円	45,000円	0円	27,216円
会場費 開催費	25,000円	25,000円	0円	40,082円
講師謝金	15,000円	15,000円	0円	0円
事務費	5,000円	5,000円	0円	15,491円
役務費・交通費	25,000円	25,000円	0円	4,295円
事業活動支出計(2)	115,000円	115,000円	0円	87,084円
当期収支差額=(1)-(2)	0円	0円	0円	27,916円

※マイナスの金額には、△印を付した。

*1 2019年度気象予報士会東北支部分担金は予定。

*2 : 2019年3月2日に20,000円（予算額と同額）を受領。

黄色塗りつぶしは、今年度まだ事業（支出予定）が残っているもの

議題6. 検討事項

(1) 支部長会議の報告

○支部活動報告、計画

【東北支部へのコメント】

サイエンスカフェに関して

- ・サイエンスカフェは参加者はどのくらいか。
→7月の一般参加者は11名。予報士会と共同で、毎年やり方・会場を工夫して実施している。高校生ぐらいをターゲットとしているが、さらに広報の工夫が必要（東北）。

【他支部の報告から】

- ・「支部長賞」（北海道、中部、九州）支部独自で、若手の研究発表もしくは研究実績に対して支部での表彰を実施している。

【理事からのコメント等】

- ・各支部便りのHP掲載を全会員にメーリングリストで周知
- ・普及活動について文科省や高文連に支援をお願いしている。支部のサイエンスカフェ等も決まっていればまとめて文書を出せる。
- ・小倉奨励賞の推薦を積極的に頂きたい。
- ・支部強化資金は、支部会計を統合した際の資金を当てており、あと2年程度で無くなる。

○秋季大会について

【総括資料への補足説明】

- ・今回は東北大学の先生に事務局長をお願いし、大変精力的に準備をしていただいた。
- ・前年の札幌大会の資料を参考に運営外注を実施した。円滑な運営への効果は大きく、今後とも継続すべき。
- ・会場費・外注費は見積もり精査して支出を圧縮し、助成や協賛金の収入確保に努めた結果、会場関係費は札幌大会より140万円増だったが、本部交付金はほぼ同額に抑えられた。
- ・研究を本務としない会員には、平日の参加は厳しいところ、日曜開催の研究会には多数参加があった。

【コメント等】

- ・協賛金の確保のために支部に精力を使わせるのはよくないのでは？
→いつも出展いただけるところを取りこぼししないこと、また件数の制約をしないで、来ていただけるところは全部いただくことが重要（東北）。
- ・シンポジウムをやらない（2年後関西）ことについて、小倉レクチャーがシンポの代わりという印象はよくない。
→テーマに苦慮することもあるようだが、今回の仙台に関しては、早坂先生が早くからリーダーシップとってすんなり実施できた（東北）。

○今後の活動に関する懇談

【東北支部からの発言】

- ・気象台として、地元大学との連携強化は非常に重要として、関係強化を優先事項としている。(気象分野に限らず)
- ・支部研究会と気象台の調査研究会の合同開催による相互理解の促進。気象台職員の発表レベルも高い。論文にまとめる余裕がないのが実情。支部研究会参加への補助が、学生の学会入会につながった。反面、気象庁職員は会員でなくとも学会の研究発表会に出られることになっている。

【学会誌等、他学会の状況等】

- ・海洋学会は、学会誌はオンライン化し、別途ニュースレターを郵送している(沖縄支部長)。
- ・地震学会は、冊子はデフォルトでは1年分合冊、希望者は毎号郵送。
火山学会では、学会会員は減少しているが、一般会員(マスコミ、自治体等)が増えている。(北海道支部長)
- ・「天気」について、現状完全オンライン化には否定的。隔月発行にしても、ページ単価の契約なので送料の削減程度。希望者のみ冊子配布とする案は検討している。(天気担当理事)

【大会運営】

春季大会をJpGUに合流すべきという意見は多いが、予算面でのメリットは無いので、その他のメリット、デメリットで議論すべき

- ・気象が全部JpGUに合流するとキャパが現在の会場では足りなくなりそう。
- ・JpGUは国際化を推進しており、基本的に発表は英語としていく方向。
- ・参加費が高いので、研究を本務としない会員はほぼ参加できない。

【その他】

- ・会費増を機に退会した会員数は、例年同時期の退会数の2倍程度。予想よりは少なかった印象(事務局)。
- ・研究発表に対する支部長賞は会員のみ対象としている。発表は会員の制約はしていない(中部)。
- ・福岡に会員が集中しているのが実情(九州)。

議題7. その他（事務局から）

① 東北支部会員数（個人会員）

2019年2月22日現在

県名	会員数	2018.04
青森県	27名	26名
岩手県	12名	17名
秋田県	13名	14名
山形県	15名	16名
宮城県	79名	77名
福島県	19名	21名
合計	165名	171名

6名減

支部メーリングリスト登録者数

2019年2月22日現在

県名	登録者数	2018.04
青森県	23名	22名
岩手県	7名	11名
秋田県	10名	11名
山形県	8名	9名
宮城県	61名	56名
福島県	13名	14名
合計	122名	123名

1名減

② 旅費等について

交通費については

青森は 22,500円〔11,210円×2〕

弘前は 22,900円〔11,430円×2〕

秋田は 20,800円〔10,370円×2〕

盛岡は 13,000円〔6,460円×2〕

山形は 2,300円〔1,140円×2〕

福島は 2,700円〔1,320円×2〕

仙台、岩沼は片道500円をお願いします。

※100円未満の端数は切り上げています。

なお、支部活動における旅費の支給は、上記に準ずるものとします。

日本気象学会東北支部第31期2018年度役員名簿

2019年3月8日現在

支部長	大林 正典	仙台管区気象台長
常任理事	青木 周司	東北大学大学院教授（理学研究科）
	山崎 剛	東北大学大学院教授（理学研究科）
	菅原 敏	宮城教育大学教授（理科教育講座）
	杉山 公利	日本気象予報士会東北支部長
	折坂 章子	日本気象協会東北支社総務課長
	西尾 利一	仙台管区気象台気象防災部長
	加藤 廣	仙台管区気象台気象防災部予報課長
地方理事	谷田貝 亜紀代	弘前大学大学院教授（理工学研究科）
	中澤 博志	山形地方気象台長
	福田 正人	青森地方気象台長
会計監査	吉田 薫	仙台管区気象台気象防災部気象防災情報調整官
幹事	岩淵 弘信	東北大学大学院准教授（理学研究科）
	淵上 隆雄	仙台管区気象台気象防災部防災調査課 調査官
	中川 憲一	仙台管区気象台気象防災部地球環境・海洋課 技術専門官

日本気象学会東北支部規則

昭和 32. 5. 26	成立
昭和 32. 7. 5	第 8. 11 条を改正、 第 15～19 条を追加
昭和 40. 11. 18	第 8 条を改正
昭和 56. 10. 12	第 2 条を改正
昭和 60. 3. 19	第 9 条を改正
平成 2. 6. 21	第 8 条を改正
平成 6. 2. 28	第 8. 9. 12. 14. 18 条を改正
平成 9. 6. 3	第 2 条を改正
平成 22. 6. 11	第 8 条を改正
平成 25. 6. 20	第 1. 2. 18 条を改正
平成 27. 3. 12	第 18 条を改正
平成 28. 2. 29	第 13 条を改正

- 第 1 条 本支部は公益社団法人日本気象学会東北支部という。
- 第 2 条 本支部は事務所を仙台市宮城野区五輪一丁目 3 番 15 号第 3 合同庁舎、仙台管区気象台内に置く。
- 第 3 条 本支部は東北 6 県に在住する全ての日本気象学会員で構成される。
- 第 4 条 本支部は日本気象学会の定款の範囲内で事業を行うが、特に支部会員の研究の奨励、推進ならびに相互の連絡につとめることを目的とする。
- 第 5 条 本支部は前条の目的を達成するために、講演会ならびに学術的会合の開催、その他この支部の目的にかなう事業を行う。
- 第 6 条 本支部の事業年度は毎年 4 月 1 日にはじまり、翌年 3 月 31 日に終わる。
- 第 7 条 本規則の実行に必要な細則は、支部理事会の決議によって別に定める。
- 第 8 条 本支部に次の役員を置く。
理事 8～11 名（常任理事 2～8 名内支部長 1 名）、会計監査 1 名。
- 第 9 条 理事および会計監査は支部会員の選挙によって定める。
ただし、任期中に欠員が生じた場合は細則の定めるところによって補充する。
- 第 10 条 支部長および常任理事は理事の互選によって理事の中から定める。
- 第 11 条 支部長はこの支部を代表して会務を総理する。支部長に事故があるとき、または欠けたときは、支部長があらかじめ指名した常任理事がその職務を代行する。
- 第 12 条 理事はこの支部の会務を行う。会計監査は支部の会計を監査する。
- 第 13 条 支部長は必要に応じ、会務の一部を処理するため幹事（3～4 名）を置くことができる。
- 第 14 条 理事および会計監査の任期は 2 年とする。ただし、重任は妨げない。
理事および会計監査は任期満了後でも後任者の就任するまでその職務を行う。
- 第 15 条 支部長は毎年 1 回および必要に応じて理事会を招集する。
- 第 16 条 理事会は過半数の理事の出席がなければ成立しない。
- 第 17 条 支部長は次の事項を理事会の承認を得て会員に報告しなければならない。
（1）事業計画および収支決算
（2）その他理事会において必要と認めた事項
- 第 18 条 本支部の経費は本部交付金（支部強化基金を含む）と寄付金とする。
- 第 19 条 この規約は理事の 3 分の 2 以上の賛成を得なければ変更することができない。
- 付則
- 第 20 条 この支部の設立当初の役員は設立準備会でこれを選任する。

以上

日本気象学会東北支部細則

昭和 33. 7. 5	成立
昭和 40. 11. 18	1 項を改正
昭和 41. 3. 15	7 項を改正
昭和 60. 3. 19	12、13、14 の各項を改正
平成 6. 2. 28	1、8、9、12、13 の各項を改正
平成 22. 6. 11	1 項を改正
平成 27. 3. 12	1 項を改正

役員選挙

- 1 理事は東北地区在住の会員より 8～11 名選出する。このうち在仙理事 5～8 名、地方理事若干名とする。
会計監査は東北地区在住の会員より 1 名を選出する。
- 2 次期理事の定数および在仙・地方別理事数は理事会で決定する。
- 3 候補者は理事会の推薦者および立候補者とし、投票締切日の 20 日前までに決定のうえ、会員に周知させるものとする。
- 4 立候補者は投票締切日の 30 日前まで支部長宛に届け出るものとする。
- 5 投票は無記名連記とする。ただし、連記数は第 2 項の決定による在仙・地方別理事数とする。
- 6 投票は文書投票とする。
- 7 有効投票により、各地区別に投票の多い順に次期理事を決定する。同数の場合は年少者を上位とする。ただし、得票数が有権者の 10 分の 1 に満たない者は理事に就任することができない。次点者も同様とする。
- 8 当選者が理事および会計監査就任を辞退した場合は次点者を繰り上げる。
- 9 理事および会計監査に欠員が生じた場合の補充は次点者をあてる。
- 10 開票は常任理事立ち会いのもで行う。
- 11 開票の結果は会員に報告する。
- 12 理事および会計監査に欠員を生じ、第 9 項による補充ができない場合は、理事会の推薦によって補充する。
- 13 第 9 項または第 12 項による補充理事および会計監査の任期は前理事および会計監査の残存期間とする。
- 14 そのほか選挙にあたって必要事項は支部長が決定し、事後に理事会に報告する。

以上